

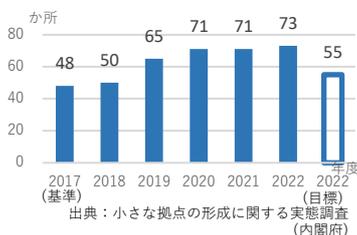
6 自治の力みなぎる県づくり

6-1 個性豊かな地域づくりの推進



自主的な地域づくりへの支援

関連目標6-1 小さな拠点形成数



A

関連目標6-2 地域運営組織数



A

【実施した取組の成果と課題】

(小さな拠点形成数・地域運営組織)

- コミュニティの維持のための小さな拠点と持続的な運営を担う地域運営組織の形成を促進するため、市町村に対して国補助金等の情報提供を継続して実施。また、地域発元気づくり支援金により2018～2022年度の5年間で新たに671団体の地域活動を支援。
- こうした支援により、地域における自主的・主体的な取組が促進され、小さな拠点形成数、地域運営組織数は目標を達成。引き続き、小さな拠点の形成や地域運営組織の活発化を支援し、自治の基盤づくりを進めていく。

関連目標6-3 地域おこし協力隊員の定着率



A

フォローアップ指標 地域おこし協力隊員数



増加

(地域おこし協力隊員の定着率、隊員数)

- 市町村地域おこし協力隊員の定着率を高めるため、協力隊員の活動ステージに応じた研修等の実施により、隊員の活動を支援。
初任者研修(年1回、延べ221人参加)
スキルアップ研修(年1回、延べ124人参加)
※延べ参加者数は2018～2022年度の実績
- 県地域おこし協力隊員を配置(2020～2022年度)し、市町村地域おこし協力隊員等への取材調査を通じて、地域協働の課題や成功事例を収集・分析し、市町村の取組の参考となる情報発信を実施。
- ミスマッチ解消のため、佐久穂町を対象に募集案件の検討から採用まで、専門的な知識・ノウハウを持つ中間支援組織とともに伴走支援を実施。募集・受入体制設計の重要性について、他地域に横展開できる事例を創出した。
- これらの取組を通して参考事例・情報の共有を図ったことより、市町村の協力隊員受入体制・支援体制の見直しに繋がり、定着率は目標値を上回った。
- 更なる隊員数の増加と定着率の向上を目指すため、研修の充実による隊員のサポートや市町村担当職員研修の新規実施、隊員の募集・受入に課題を抱える市町村への支援を実施していく。

【関連する事業改善シート】

- 〔企画振興部〕
020801 地域振興課 地域活性化推進事業費
020802 地域振興課 地域振興局事業費



地域おこし協力隊スキルアップ研修(2023.3)

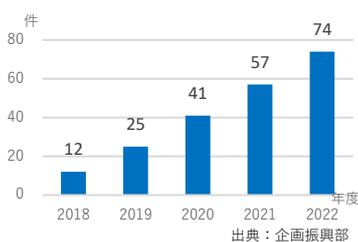
新時代に適合した県と市町村の関係構築

圏域全体の活性化に 取り組む圏域数



圏域数を維持

市町村広域連携推進事業交付金による 事業件数(累計) (木曾・北アルプス地域)



増加

【実施した取組の成果と課題】

- 市町村が行政サービスを持続的かつ効率的に提供できるよう、市町村の広域連携に係る国の支援制度(連携中枢都市圏、定住自立圏)が適用されない木曾・北アルプス地域の広域連携の取組に対して支援。
- 2018～2022年度の5年間で、両地域で累計74件の事業に対し、計159,808千円の交付金を交付し、移住交流や広域観光、福祉などの分野で取組が進められている。

【関連する事業改善シート】

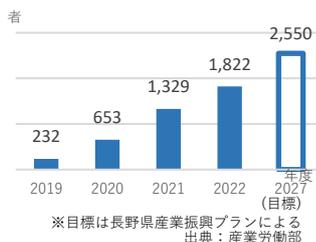
- 〔企画振興部〕
020901 市町村課・地域振興課 市町村の行財政支援事業費

多様な主体との連携・協働

関連目標6-6 県と企業・団体等と協働して行った事業数



SDGs推進企業登録制度 延べ登録者数



【実施した取組の成果と課題】

- 企業等との協働につながる関係性の強化のため、包括連携協定の締結に注力(2007～2016年度の10年で22件、2017～2022年度の6年で21件を締結)したこと等により、協働事業はコロナ禍前まで着実に増加。コロナ禍で一旦低下したものの、基準年に比べて増加し、目標を達成。
- 協働・共創の定着に向けて、県組織における推進体制の整備、企業との共創で事業を行う際のルールの明確化、共創のモデルとなる事業の構築による包括連携協定企業との関係の更なる深化が必要。
- SDGs推進企業登録制度については、2019年の創設以降、登録企業の取組発信や企業間交流の場の提供を通じて、県内事業者がSDGs経営への理解を深めるための支援を実施し、登録者数は現在1,822者となっている。
- 登録企業間でSDGsの取組レベルに差があることが課題であり、2021年には自社の取組レベルを「見える化」するためのツールを開発。今後は同ツールの活用により、企業ごとに必要なアクションを促進していく。

A

増加



【企業との連携の推進】

民間主体との関係性強化のため、包括連携協定締結企業を集めた“共創セッション”を開催し、12社22名が参加。



長野県SDGs推進企業情報サイト
<https://nagano-sdgs.com/>

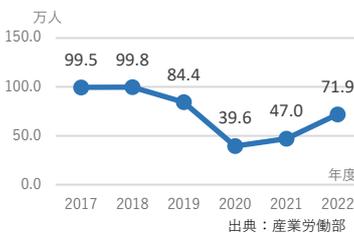
【関連する事業改善シート】

〔企画振興部〕
020503 広報・共創推進課 協働・共創推進事業費
〔産業労働部〕
070101 産業政策課 商工業企画調査・応援事業

6-2 信州のブランド力向上と発信



銀座NAGANO来館者数



銀座NAGANO販売額



【実施した取組の成果と課題】

- 信州首都圏総合活動拠点(銀座NAGANO)は、県内だけでなく、首都圏をはじめ多くの人へ信州のヒト、コト、モノを発信し、信州の美しさと健康な暮らしをシェアすることでコアな信州ファンを創造することを目的として運営。2020,2021年度と続いたコロナ禍での水際対策や行動制限などの規制が緩和されたことに合わせ、イベントや物販促進施策を実施。2022年度の2階イベントスペースでのイベント実施件数は173件と、2021年度から約100件増加し、販売額については過去最高額を記録したが、来館者数はコロナ前と比べて7割強の水準までの回復にとどまったことから、店舗まで足を運びたいようなイベント・物販の展開や情報発信が課題である。
- 「信州魅力発信ブログ」やSNSについては、その運用をとおして信州ブランドの普及浸透を図るため実施。「信州魅力発信ブログ」は各地域振興局等から継続的に記事発信を行っており、2022年度は地域振興局全体での記事の更新が1,286件であった。また、instagramでは一般ユーザーがハッシュタグ「#しあわせ信州」を付して投稿し、ハッシュタグ使用投稿数が累計で約23万件になっているなど、各種媒体の特性に合わせた運用を継続的に続けることで、ファン数・フォロワー数は着実に増加している。

コロナ前と比べて7割強の水準に回復

順調に回復し、過去最高を記録

魅力発信ブログ・SNS ファン数、フォロワー数



「信州魅力発信ブログ」のページ

堅調に増加

【関連する事業改善シート】

〔産業労働部〕
070801 営業局 営業推進事業

